

2014年7月24日

公益財団法人 日本サッカー協会
2014年度 第8回理事会

追認事項

1. 日本人指導者海外派遣の件
<p>(追認) 資料No. 1</p> <p>下記各国サッカー協会からの要請を受け、アジア貢献事業の一環として、下記指導者、派遣先協会との契約締結をお諮りしたい。</p> <p>派遣指導者： 関口 潔 (せきぐち きよし) (45歳)</p> <p>派遣先協会： 北マリアナ諸島サッカー協会 (NMIFA)</p> <p>資 格： AFCプロディプロマコーチ (2012年取得) 公認A級コーチ (2005年度取得)</p> <p>役 職： 北マリアナ諸島代表監督</p> <p>契約期間： 2014年7月1日～2016年1月31日</p> <p>費用負担： [JFA] 給与及び傷害保険料 [NMIFA] 住居、自動車、日本～サイパン間の往復航空券</p> <p>略 歴： 添付別紙のとおり</p> <p><背景及び実施理由></p> <p>関口氏は2011年まで北マリアナ諸島代表監督を務めていたが、当時、米国の雇用情勢の悪化が影響して労働ビザの更新が難しくなり、北マリアナ諸島サッカー協会 (NMIFA) が弁護士に依頼して諸々ワークするも更新できず、止む無く契約を中途解約するに至った。</p> <p>その後、北マリアナ諸島独自のビザの制度 (コモンウェルスビザ) が新設されたため、今年に入り、弁護士より関口氏のビザが取得可能との情報を得たNMIFAから再度、派遣の打診があった。関口氏は6月末までラオスサッカー連盟技術委員長としての契約があったため、その満了を待ってNMIFAへの派遣交渉を予定していた。ところが、7月20日から始まる東アジアカップ1次予選に監督として指揮をとってほしいとNMIFAから強い要請があり、それに応えるべく関口氏には既に7月9日に現地に赴任してトレーニングを開始してもらっている。</p> <p>そのため、本件は追認事項としてお諮りしたいもの。</p>
2. 海外指導者資格審査の件
<p>下記クラブより申請のあった指導者資格審査について、本協会技術委員会にて審議の結果、S級コーチライセンスと同等以上の資格を有しているものと認定する。</p> <p>■セレッソ大阪</p> <p>氏 名： Marco Pezzaiuoli (マルコ ペッツァイオリ)</p> <p>国 籍： イタリア</p> <p>生年月日： 1968年11月16日</p> <p>主な指導歴： 1991年～2000年 カールスルーエ SC ユースコーチ (ドイツ) 2000年～2003年 カールスルーエ SC アシスタントコーチ 2003年～2006年 水原三星ブルーウィングスアシスタントコーチ (韓国) 2007年～2008年 U-16 ドイツ代表監督</p>

2008年～2009年	U-15 ドイツ代表監督
	U-17 ドイツ代表監督
	U-18 ドイツ代表監督
2010年	TSG1899 ホッフェンハイム アシスタントコーチ (ドイツ)
2011年	TSG1899 ホッフェンハイム監督 (ドイツ)
保有ライセンス	: 2007年 UEFA PRO Licence